

2020年1月14日

関係者各位

独立行政法人国立科学博物館
標本資料センター 細矢 剛

第34回 自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催について（案内）

平素より自然史標本データ整備事業にご協力下さり、ありがとうございます。

表記研究会を下記のとおり JT 生命誌研究館で開催します。

多くの皆様のご参加をお待ち致しております。ご参加いただける場合は、1月31日（金）までにメールで下記担当までお名前、ご所属をご連絡ください。

記

日時：2020年2月17日（月） 13時00分～17時（12時30分開場）

場所：JT生命誌研究館（大阪府高槻市紫町1-1）

<https://www.brh.co.jp/about/seimeishi/visiting/#access>

主催：国立科学博物館

協力：NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラムは別紙をご覧ください

本件に関する連絡先

国立科学博物館

細矢 剛

電話：029-853-8277 E-mail：s-net_info@kahaku.go.jp

第34回 自然史標本情報発信に関する研究会

～データ品質向上に向けてのテクニック～

GBIFは2017-2021年の中期目標として、1) 国際的なネットワークへの注力、2) 生物多様性情報のインフラ整備、3) データギャップを埋める、4) データの品質向上、5) 科学および社会で必要とされるデータの提供を挙げています。S-Netは、日本国内のデータ利用を主眼として発展・運用されていますが、データギャップや品質については、まだ取り組むべき課題があります。

そこで、今回は、データ入力において起こしやすいエラーやその検出、修正のためのテクニックなどにスポットをあて、より品質の高いデータを出すための様々なコツを紹介します。小ネタが多いですが、基本的な技術を中心に紹介しますので、持ち帰って応用されることを希望します。また、地理情報を地図にプロットする簡単な方法と、絶滅危惧種のデータの取扱についても実演を通じて紹介します。参加される方は、事前に「こんなことができないか」というような課題をお知らせください。可能な範囲での対応も考慮します。今回の会合を通じて、より品質の高いデータ提供に結びつけたいと思います。

日時：2020年2月17日(月) 13時00分～17時(12時30分開場)

場所：JT生命誌研究館(大阪府高槻市紫町1-1)

主催 国立科学博物館

協力 NPO法人 西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラム

13:00-13:30 開会挨拶・趣旨説明 GBIF/S-Net 動向説明など

13:30-16:30 レクチャー・実演・実習 [国立科学博物館 細矢]

- 1) 起こりやすいエラーとその検出
 - (ア) 学名のチェック
 - (イ) 全角・半角問題、起こりやすい文字の間違い
 - (ウ) ホワイトスペース問題
 - (エ) 特殊文字の取り扱い(ウムラウトなど)
- 2) 地理情報の基礎知識
 - (ア) 地理院地図を使った地図表現
- 3) 新しいレッドリスト種判別システム

16:30-17:00 討論・意見交換

S-Netの改善にむけて

高品質なデータの提供のために必要なこと

※参加者は、エクセルが入った、Wi-Fiが利用できるPCを持参することが望ましい。